

(単位：千円)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	—	—	—	—	—	—	
	定性的評価	目標値	—	—	—	—	—	—	
		達成度	%	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	件	36	41	38			
	教育委員会会議 議案審議数			40	40	40	40	40	
	当初見込								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	教育長、教育委員による教育委員会議、協議会の実施。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
	当初見込								
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること 【定性的評価】	
	教育委員会会議においては、活発な意見交換や議案等の審議を行い、地域の実情に応じた教育の振興を図ることができた。 他市教育委員会等との交流、情報交換などを積極的に行い、さらなる教育行政の推進に努める。 教育委員会の活動について広く的確に広報する必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	教育委員会の事業や活動内容について目的や成果、教育委員の視点・意見などを分かりやすくまとめ、ホームページで定期的に発信していく。	

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	中学校部活動地域移行検討事業										事業コード	100102620105				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実							
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進								施策コード	411					
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課						所属長	間島 哲哉							
会計情報	款	10 教育費		項	01 教育総務費		目	02 教育振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	206		頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和9年度		関連計画名	－				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☒ その他 (国委託金・府委託金)															
関連事業	社会人コーチ派遣事業															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 少子化による生徒数の減少及び生徒のニーズの多様化、教員の働き方の是正等により、従前と同様の学校部活動の運営維持が困難になっている。						
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 市域が広域のため、移動手段をどうするか、また教員に代わり指導する者や、各種目や活動の運営等を担ってもらう団体等の育成・支援等が必要。						
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 地域における持続可能で、多様なスポーツ・文化芸術環境を整備することにより、生徒がスポーツ・文化芸術に継続して親しむことができる機会と、生徒の多様なニーズに合った部活動機会を確保・充実させる。また、地域展開を進めることにより、教員の働き方改革を促進する。						
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・福知山市部活動改革検討会議の運営 ・実証事業の実施						
対象者	生徒・中学校教職員			対象者数	2,090	単位あたりコスト	6.6
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (						

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	4,452		11,198		7,106		0					
	② 補正予算	0		△ 4,921		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0		0					
	次年度繰越	0		0		0		0					
小計(①～③)		4,452		6,277		7,106		0					
予算財源内訳	① 一般財源	1,885		883		1,712		0					
	② 国支出金	1,197		0		0		0					
	③ 府支出金	1,370		5,394		5,394		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	0		0		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 97		△ 654									
	② 配当予算	4,355		5,623									
	③ 執行額	3,438		3,833									
	④ 執行率	78.9%		68.2%									
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.69	/	0.10	1.02	/	0.65			/			
	② 概算人件費	5,800		9,980									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		9,238		13,813									
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	京都府運動部活動の地域移行に向けた実証事業			種類	教育費府委託金		3,009		決算附属資料	29		頁
		中学校部活動地域移行検討事業指定寄附金				教育費指定寄附金		1,000			34		

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	回	－	32	68			
	部活動地域展開に係る実証事業の実施数	目標値		－	33	76	100	100	
		達成度	%	#VALUE!	97%	89%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	種目	－	2	7			
	部活動地域展開実証実証種目数	当初見込		－	2	7	15	15	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	部活動地域展開実証事業実施数								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること 令和6年度には中学校校長会、教頭会、中体連の専門部長、専門委員長、受け皿となる関係団体、市内高等学校、公立大学との意見交換を中心に行い、現状把握を行った。また、実証事業を令和5年度の2種目(サッカー、ソフトボール)から7種目(サッカー、ソフトボール、バスケットボール男女、剣道、バレーボール男子、吹奏楽)へ拡充することができた。指導者については、受け皿となる団体の推薦と部活動の指導を希望する教員が兼業兼職することで人材を確保することができた。実証事業の市域が広いため、合同で活動を行う際は車での移動が必須で、安心安全に生徒が活動に参加できる移動手段の確保を検討する必要がある。
現状の課題 に対する 改善策	・指導員等の拡充。(指導者バンク、公立大学との連携等) ・部活動改革検討会議の継続(年間4回程度開催予定)。 ・運動部活動の実証事業及び文化部活動の実証種目事業の拡大。 ・実証事業の運営事務について、民間事業所に委託を行う。 ・他市事例を参考にする。

1 事業属性

(単位：千円)

事業名	社会人コーチ派遣事業							事業コード	100102620171		
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち					政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実			
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進						施策コード	411		
事業担当	所属	600200 教育委員会学校教育課					所属長	間島 哲哉			
会計情報	款	10 教育費	項	01 教育総務費	目	02 教育振興費	会計	01 一般会計	決算附属資料	208	頁
計画期間	開始年度	平成28年度	終了予定年度	令和8年度	関連計画名	—			R7現在の状況	継続中	
根拠法令等	—										
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 ()										
関連事業	—										

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・種目によっては、競技経験のない教員が顧問となり、部活動指導をしているため、専門的な指導が難しい。 ・全国的に教職員の長時間勤務が問題となっており、部活動に携わる時間を軽減することが必要である。					
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 顧問に代わって引率等できる部活動指導員の人材確保。 専門的な技術指導ができる外部指導者の人材確保。 平日、土日問わず、指導ができる人材確保及びそのための予算確保。					
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 【部活動外部指導者】中学校部活動と地域社会との連携を促進し、部活動の競技力や技術力の向上を図る。 【部活動指導員】部活動指導において、教職員と同じ役割を担える人材を配置することで、教職員の指導時間・負担の軽減を図る。					
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ・部活動に対して外部指導者17名、部活動指導員3名を雇用。					
対象者	生徒・中学校教職員		対象者数	2,090	単位あたりコスト	2.4
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 ()					
委託先・実施主体等						
主な支出に係る 業務内容と経費	費目	実績(R6)	主な業務内容	費目	実績(R6)	主な業務内容
	報償費	3,302	部活動外部指導者・部活動指導員報償費			
	役務費	34	部活動外部指導者・部活動指導員保険料			

区 分		R5(評価前年度)	R6(評価年度)	R7(本年度)	R8(要求年度)
予算情報	① 当初予算	4,015	3,157	3,011	0
	② 補正予算	0	0	0	0
	③ 繰越予算	0	0	0	0
	前年度繰越	0	0	0	
	次年度繰越	0	0	0	0
小計(①～③)		4,015	3,157	3,011	0
予算財源内訳	① 一般財源	1,339	3,157	3,011	0
	② 国支出金	0	0	0	0
	③ 府支出金	2,676	0	0	0
	④ 地方債	0	0	0	0
	⑤ その他特財	0	0	0	0
決算情報	① 流充用額	0	178		
	② 配当予算	4,015	3,335		
	③ 執行額	2,442	3,335		
	④ 執行率	60.8%	100.0%		
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.19 / 0.00	0.19 / 0.05	/	/
	② 概算人件費	1,520	1,660		
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		3,962	4,995		

主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称		種類		実績金額		決算附属資料		頁

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績	%	23	23	20			
	部活動指導員の配置による顧問の部活動指導時間の負担軽減率	目標値		20	20	20	20	20	
		達成度	%	115%	115%	100%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	人	1	3	3			
	部活動指導員の配置人数	当初見込		3	3	3	5	9	
活動内容① (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	平日・土日に部活動指導員を配置する。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※ 直接アウトカム ・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※ アウトプット ・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※ アクティビティ ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※ 必要性、効率性、有効性の観点 を基に記述すること 専門的技術指導により、生徒の部活動への出席や意欲の上昇につながった。 働き方改革の観点では、一定教職員の負担軽減につながった。 今後も働き方改革の観点から、継続実施が必要であるが、勤務形態等学校現場の状況を理解された人材確保が課題である。								
現状の課題 に対する 改善策	働き方改革の観点から、教職員の部活動指導時間の負担軽減が図れるため、予算措置をし充実を図る。また、各競技団体と連携をとり人材確保につなげていく。								
	スポーツ庁・文化庁の提言による部活動の地域展開等についても関係各機関と連携し、移行を進めていく								

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	はばたけ世界へ 中学生短期留学事業										事業コード	100501610108			
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実						
	施 策 名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進								施策コード	411				
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課						所属長	西村 憲二						
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	220・221	頁
計画期間	開始年度	令和3年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 ・生徒募集から選考、留学の引率までを教育委員会で担っている。 ・生徒の学習意欲を尊重し、経済的理由で参加を断念することがないよう、生徒の留学費用(移動費用、授業・教材代、滞在費用等)は公費負担とする。また、就学援助又は生活保護受給世帯については、さらに扶助費から渡航経費の補助を行い、負担緩和を図っている。									
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ ・応募人数に対し、海外留学に参加できる生徒が15人のため留学に参加できない生徒の数が多い。 ・令和6年度から応募者全員研修会を実施しているが参加できない生徒にも還元できるような工夫が必要である。									
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 次代を担う中学生に、広い視野と国際感覚や人権感覚を持ち、新たな価値観や多様性を受け入れ、グローバルな国際社会で未来を切り開くために役立つ短期留学を支援し、国際交流を通じて自らの成長と新たな次のステップに挑戦する契機とする。また、将来的に地域経営のアイデアを有したグローバル人材の育成へとつなげる。									
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○8月に中学2年生15人を対象として、海外留学を実施 4～7月 事前学習会 計4回 開催、8月 海外留学 実施(研修地:カナダ コキットラム等、9日間)、9月 留学報告会 開催 12月 令和7年度 海外留學生徒募集説明会 1～3月 令和7年度 海外留學生徒募集・選考、応募者全員研修会開催									
対象者	福知山市内在住かつ福知山市内中学校に在学している2年生					対象者数	700		単位あたりコスト	27.2
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (									

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	15,821		16,384		17,055		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		15,821		16,384		17,055		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	0		8,192		8,527		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	15,821		8,192		8,528		0						
決算情報	① 流充用額	0		△ 87										
	② 配当予算	15,821		16,297										
	③ 執行額	14,734		15,434										
	④ 執行率	93.1%		94.7%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員 / 会計年度任用職員)	0.37	/	0.00	0.45	/	0.00	/						
	② 概算人件費	2,960		3,600										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		17,694		19,034										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	はばたけ世界へ中学生短期留学事業(きょうと地域連携交付金)			種類	教育費府補助金		7,690		実績金額	28		決算附属資料	頁
		はばたけ世界へ 中学生短期留学事業基金繰入(ふるさと創生事業基金)				基金繰入金		7,719			35			

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	認	15	15	15			
		目標値		15	15	15	15	15	
	海外留学生徒数	達成度		%	100%	100%	100%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	6	1	1			
		当初見込		3	3	1	1	1	
	海外留学生徒募集説明会								
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
	12月に学校を通じて対象生徒へリーフレットを配布した。同時期にHPや広報カードで周知をはかり、応募を募った。								
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
		達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること	
	○海外留学を通して日本ではできない多くのことを体験し、短期間ではあるが、生徒自身の自立や成長に繋がる機会となった。帰国後は、「長期海外留学を目標にしたい」「成長したコミュニケーション力を発揮していきたい」「将来の職業に役立てたい」など短期留学を契機に今後に向けて大変意欲的な思いを聞くことができた。 ○令和6年度に引き続き、応募者全員研修会(2月)を開催し、異文化やコミュニケーションについて学ぶ機会を提供し、留学への関心をさらに高める機会となった。 ○令和6年度海外留学生徒による報告会、令和7年度海外留学生徒募集について、中学生の利用数は少ないが児童館や各人権施設にも協力いただくため、説明・周知を行い連携を図った。 ○国際感覚を養うことだけでなく、人権感覚や人権意識を磨くためのプログラムも提供する必要がある。	
現状の課題 に対する 改善策	○国際感覚を養うことだけでなく、人権感覚や人権意識を磨くために、事前学習会において人権学習を実施する。	

| 事業属性

(単位：千円)

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

主な利用特財
(R6年度実績値)

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績	%	76	81	78			
	出席者の割合	目標値		100	100	100	100	100	
			達成度	%	76%	81%	78%	0%	0%
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績	回	1	1	1			
	二十歳を祝う会開催	当初見込		1	1	1	1	1	
活動内容① (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
住民票の有無に関係なく、式典実施対象年度に二十歳を迎える方に向けて広く式典開催を周知し、成人の日の前日に開催している。出席者にとって充実した式典となるよう、限られた予算内ではあるが内容の創意工夫を行う。									
成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を実現させたいか。	成果実績							
		目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。	活動実績							
		当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点に基づき記述すること
	○式典は大きなトラブルもなく多くの対象者の参加(出席者数は従来より8割程度と周辺自治体と比べて高い水準で推移)を得て開催できたことは評価できる。 ○令和7年式典では、式典後に初の記念企画実施、市啓発配布物品のペーパーレス化や社会教育委員による司会進行等、従来の式典内容を見直した。特に市ンティプロモーションと連携し集合写真を撮影した全面カラー広告においては、二十歳、親族、職場の方、地域の方からなどそれぞれが新聞広告に注目いただき、好評の声を多くいただいた。新聞広告に添えられたメッセージ(佐藤舞葉さん作)も好評で、二十歳にも大人世代にも発信意図や主張内容が伝わりやすいメッセージ性のあるものとなった。
現状の課題 に対する 改善策	継続的に事業実施を進め、対象者にとって充実した式典となるよう、限られた予算内ではあるが内容の創意工夫をしていきたい。

福知山市 令和7年度事務事業評価シート

事業属性

(単位：千円)

事業名	地域で支える「地域未来塾」開講事業										事業コード	100501630210				
政策体系	基本政策	4 市民一人ひとりが、いつからでも何歳でも、自分らしく学びを深められるまち						政策目標	1 子どもたちの成長を育む多様な学びの場の充実							
	施策名	1 地域総ぐるみの教育の場づくりの推進								施策コード	411					
事業担当	所属	600300 教育委員会生涯学習課						所属長	西村 憲二							
会計情報	款	10 教育費		項	05 社会教育費		目	01 社会教育総務費		会計	01 一般会計		決算附属資料	222		頁
計画期間	開始年度	平成27年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	-				R7現在の状況		継続中		
根拠法令等	-															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務的事业 ☐ その他 (															

II 事業基礎情報

背景(現状) (3行程度以内)	※事業を実施する背景や事業における現状 様々な理由や要因により、家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についたりしていない中学生への学習支援を実施する。平成27年度は、モデル事業として桃映中学校で実施、H28年度は、桃映、成和、六人部中の3校で実施。平成29年度は、桃映、成和、六人部、南陵、日新中学校の5校で実施。平成30年度に市内市立全9中学校で実施し、令和6年度は全9中学校実施の7年目となる。										
課題 (3行程度以内)	※事業目的と現状とのギャップを埋めるために、真に解決すべきこと・最も直すべきところ 学習支援員の高齢化に伴い、新たな学習支援員の人材確保が課題となっている。										
事業目的 (5行程度以内)	※背景(現状)、課題をふまえ、何のために事業を実施するのか。(紐づくまちづくり構想の施策も踏まえて記入) 家庭での学習が困難であったり、学習習慣が十分に身についていなかったりする中学生に、教員OBなど地域住民の協力による学習の場を提供し、学習習慣の確立と基礎学力の定着、義務教育終了時に必要な学力、高等学校等進学後に必要な学力の獲得を支援する。										
実施概要 (5行程度以内)	※事業目的を達成する手段として、誰(何)を対象に、どのような手段・手法で事業を行うのか箇条書きで記載すること ○対象生徒:学習習慣を十分に身につけさせたい中学3年生 ○実施場所:中学校又は学区内の地域公民館等を利用 ○令和6年度実績 市内9ブロック、全市内市立中学校で実施 実施期間:9月上旬から2月下旬まで(週2回、各1時間) 主な実施教科:英語、数学 開講日数:255日 受講生徒数:101人 学習支援員数:延べ75人										
対象者	学習習慣を十分に身につけさせたい中学校3年生の生徒					対象者数	647		単位あたりコスト	12.7	
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (										

III 予算執行状況

区 分		R5(評価前年度)		R6(評価年度)		R7(本年度)		R8(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	5,983		5,703		5,952		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0		0						
	次年度繰越	0		0		0		0						
小計(①～③)		5,983		5,703		5,952		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		2,231		3,709		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	2,436		2,319		2,243		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	3,547		1,153		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 309		△ 6										
	② 配当予算	5,674		5,697										
	③ 執行額	5,014		5,204										
	④ 執行率	88.4%		91.3%										
人概工算	① 従事職員数 (正職員/会計年度任用職員)	0.45	/	0.00	0.37	/	0.02	/						
	② 概算人件費	3,600		3,016										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		8,614		8,220										
主な利用特財 (R6年度実績値)	特財名称	地域で支える「地域未来塾」開講事業		種類	教育費府補助金		2,176		実績金額	27		決算附属資料	27	頁
		地域で支える「地域未来塾」開講事業基金繰入			基金繰入金		1,153			35				

Ⅳ 業績指標(ロジックモデル)

成果指標及び成果実績 ① (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績	%	80.7	84.4	88			
			目標値		100	100	100	100	100	
	出席率(受講生徒)		達成度	%	81%	84%	88%	0%	0%	
活動指標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績	校	9	9	9			
	開校数									
					当初見込	9	9	9	9	9
活動内容① (アクティビティ)		※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。								
		受講生徒の選出は中学校に依頼しているが、一定自学自習の力を持ち「未来塾」の支援員の見守りやサポートで学習を進めていける力が必要であり、学校に対しても毎年丁寧な連携や事業の共通理解に対する説明を行う。受講生徒数に応じた学習支援員の人材確保を行い、安定した事業継続を進める。								

成果指標及び成果実績 ② (直接・短期アウトカム)	定量的な成果指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標年度 令和8年度	
	※直接アウトカム・・・下の活動指標及び活動実績(アウトプット)により、事業対象者に対してどんな効果を発現させたいか。		成果実績							
			目標値							
			達成度	%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
活動指標及び活動実績 ② (アウトプット)	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標最終年度 令和8年度	
	※アウトプット・・・アクティビティをどれだけ実施するか(したか)を数値で測る目標名・実績。		活動実績							
			当初見込							
活動内容② (アクティビティ)	※アクティビティ・・・アウトプット・アウトカムにつながる、事業の具体的な活動。誰を対象に何を行うのか。									

Ⅴ 事業担当所属内による自己点検

定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	※必要性、効率性、有効性の観点を基に記述すること	
	○学校・公民館・学習支援員の協力を得て、全ての学校で年間を通して事業を推進することができた。全体の開講日数は従来並みに確保できた。 ○地域の方々が学習支援などに協力いただいたことで、学校以外の学習の場を設け、受講生徒の苦手分野の克服や学習習慣が身に付くよう支援ができた。また、学習の場だけでなく、地域の方々と心地よいやりとりの場や、安心して自分の思いを話せる居場所を提供することもできた。学習支援員として参加する地域の方々からもやりがいを感じるという意見を得ている。 ○閉講前の受講生徒アンケートにおいても家庭学習の時間が増えたという意見が聞かれた。アンケート結果抜粋：①未来塾参加前と比べて、全体の96%(前年対比6%増)の生徒が勉強する時間が増えたと回答した。②未来塾参加前と比べて、全体の77%(前年対比3%増)の生徒が1日30分以上勉強している日が増えたと回答した。 ○長年お世話になっている学習支援員の高齢化により、支援員の数が減少している。	
現状の課題 に対する 改善策		
	○地域支援コーディネーターを中心に、事業の周知等や学校・公民館と連携し、学習支援員の人材確保を進める。	